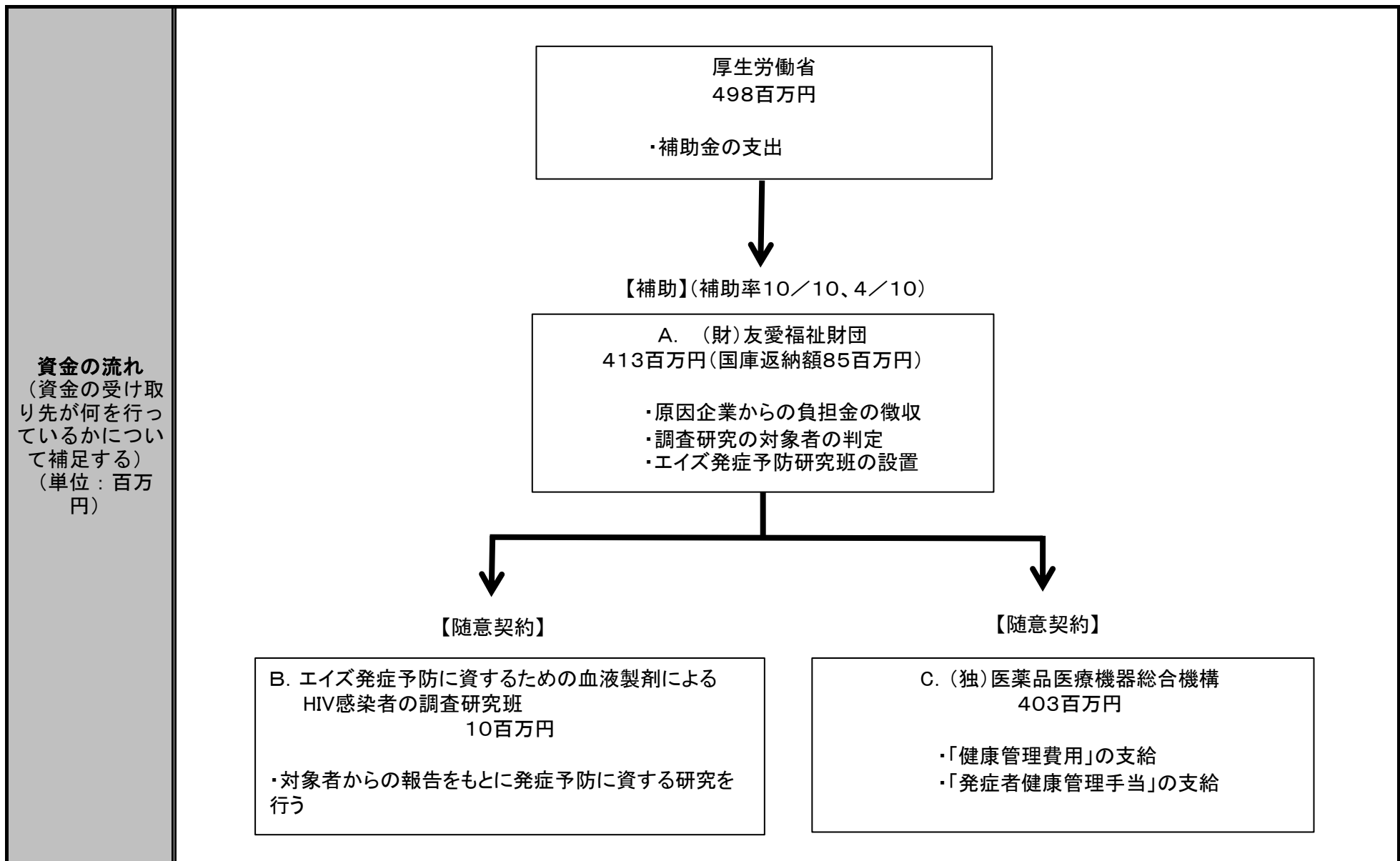


平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究等事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度～		担当課室	総務課医薬品副作用被害対策室		室長 須田 俊孝	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-7-1 健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成8年3月29日の国とHIV訴訟原告団との和解に伴う恒久対策として以下の事業を実施している。 ①エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業 血液製剤によるHIV感染者等のエイズの発症予防に資する。 ②血液製剤によるエイズ患者等のための健康管理支援事業 エイズ発症に伴い健康管理に必要な費用の負担を軽減し、血液製剤によるエイズ患者等の福祉の向上に資する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	①エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業(補助率10/10) 血液製剤によりHIVに感染し、エイズ未発症の者に対し、健康管理費用として月額51,600円又は35,600円を支給。 ②血液製剤によるエイズ患者等のための健康管理支援事業(補助率4/10、6/10は企業負担) 裁判上の和解が成立した者であって、エイズが発症している者に対し、「発症者健康管理手当」として月額150,000円を支給。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	516	506	500	490	487
		補正予算					
		繰越し等					
	計	516	506	500	490	487	
	執行額	516	506	498			
執行率(%)	100%	100%	99%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	国とHIV訴訟原告団との和解確認書に基づいて実施されている事業であり、成果目標及び成果実績の策定には馴染まない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国とHIV訴訟原告団との和解確認書に基づいて実施されている事業であり、活動指標及び成果実績の策定には馴染まない。		活動実績(当初見込み)	—	—	—	—
				(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業費	377	374	事業実績を勘案し、対象者数を見直したことによる縮減			
	血液製剤によるエイズ患者等のための健康管理支援事業費	113	113				
計	490	487					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、国とHIV訴訟原告団との和解に基づき実施しているものであり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、国とHIV訴訟原告団との和解に基づき実施しているものであり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	本事業は、国とHIV訴訟原告団との和解に基づき実施しているものであり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	(財)友愛福祉財団は企業から和解金や負担金の徴収を行う唯一の機関であるとともに、調査研究事業の対象者の判定を行っており、本事業の支出先の選定は妥当と言える。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	(財)友愛福祉財団の支出は事業計画に基づき、適正かつ合理的に行われている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は当省が実施要綱及び実施細則を定め、それに基づいて業務を行っており、費目・使途も真に必要なものに限定されている。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業は当省が実施要綱及び実施細則を定め、それに基づいて業務を行っており、実効性は高いものと考えられる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・手当支払事務等については(独)医薬品医療機器総合機構へ業務委託するなど、事業を効率的に実施するための工夫を行っている。 ・当該事業は、いずれも国とHIV訴訟原告団との裁判上の和解に基づき国の責務として実施しなければならないため、国費支出の削減は困難である。 					
	外部有識者の点検対象外					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
執行内容の改善	本事業は、HIV訴訟等の和解に伴い、国の責務として実施している事業であり、見直しの余地はほとんど無いが、執行実態を精査のうえ、必要な予算措置に努めること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究等事業について、事業実績を勘案し、対象者数を見直したことによる縮減					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	225	平成23年	202	平成24年	169



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(財)友愛福祉財団			C.(独)医薬品医療機器総合機構		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	対象者に対する「健康管理費用」の支給業務 対象者に対する「発症者健康管理手当」の支給業務	378	研究協力謝金	健康管理費用	298	
事務費	消耗品費、備品費、通信運搬費、人件費等	25	研究協力謝金	発症者健康管理手当	80	
委託費	血液製剤由来HIV感染者からの報告をもとに発症予防に資する研究	10	事務費	消耗品費、備品費、通信運搬費等	14	
			人件費	職員給与等	11	
計		413	計		403	
B. エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究班						
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
調査研究費	研究に必要な印刷製本費、賃金、通信運搬費等	10				
計		10	計		0	

支出先上位10者リスト

A.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)友愛福祉財団	・エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業 ・血液製剤によるエイズ患者等のための健康管理支援事業 ・調査研究の対象者を認定する判定班の運営	413		
B.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究班	血液製剤由来HIV感染者からの報告をもとに発症予防に資する研究	10		
C.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)医薬品医療機器総合機構	・対象者に対する「健康管理費用」の支給業務 ・対象者に対する「発症者健康管理手当」の支給業務	403		

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	血液製剤対策事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和46年度～平成24年度		担当課室	血液対策課		課長 浅沼 一成		
会計区分	一般会計		政策・施策名	施策目標：I-7-1 健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成20年6月6日厚生労働省告示第326号) ・献血推進計画(平成23年3月23日厚生労働省告示第64号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」における国の債務に基づき、国内自給及び安全な血液製剤の安定供給を確保するため、献血の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	安全な血液製剤の安定供給の確保のための血液供給等事業として、①献血者健康増進等事業、②血液の安全性確保のための情報システム事業、③問診技術向上研修事業、④若年層献血者等確保推進事業、⑤ウエストナイルウイルス検査体制整備事業を、また、献血推進基盤整備事業として、⑥献血受入確保施設設備整備事業、⑦複数回献血協力者確保事業を日本赤十字社への補助事業(補助率1/2)として実施している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	472	373	346			
		補正予算						
		繰越し等						
	計	472	373	346				
	執行額	456	371	344				
執行率(%)	96.6%	99.5%	99.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	毎年度、献血により確保すべき血液の目標量の90%以上		成果実績 万リットル	206	203	204		
			達成度 %	113	109	98		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	「成分献血」に用いる成分採血装置の購入台数		活動実績 (当初見込み) 台数	新規45 更新135 (新規45 更新135)	新規22 更新162 (新規32 更新152)	新規1 更新198 (新規36 更新138)	—	
	複数回献血クラブにおける各種講演会の開催回数		回	60 (73)	65 (65)	63 (69)	()	
単位当たりコスト	複数回献血クラブにおける各種講演に対する国の補助額 (26千円/回)		算出根拠	(A)1,642千円 ÷ (B)63回 = 26千円 (A)複数回献血クラブにおける各種講演に対する国の補助額 (B)複数回献血クラブにおける各種講演の開催回数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	献血者被害調査謝金							
	献血者健康被害調査委員等旅費							
	献血者健康被害調査費							
	献血確保事業等補助金							
	計							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療に必要な血液製剤を確保するための体制確保等、血液法における国の責務に基づき、実施している事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	血液法の国の債務に基づき実施している事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安全な血液製剤の供給は、国民の保健衛生の向上に重要であり、優先度の高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	血液法に基づく国の責務を踏まえ、我が国唯一の採決事業者である日赤への国庫補助を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	血液法に基づく国及び採決者の責務を踏まえ、国庫補助率は1/2に設定している。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		△	補助事業者がコスト削減意識を持って事業を行うべきである。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	日赤からの支出は日赤の会計規則に基づき、適正かつ合理的に行われている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業の目的を達成するため、専門家、有識者の見解を踏まえ、国は事業の実施要綱において実効性の取組を示している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績はその見込みに見合ったものとなっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	献血ルームや成分採血装置については、稼働率も高く、十分に活用される。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	本事業は、血液法における国の債務に基づき、国が実施すべき事業であり、国民のニーズもあり、その成果目標の達成度は高い。しかし、補助事業者はコストを意識し、より効率的な事業の実施を行うべきである。行政事業レビュー公開プロセスにおいても、補助金を廃止し、補助事業者がコスト削減意識をもって事業をすべきであるなどの意見を頂いたことを踏まえて、本事業を廃止する。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
<p>・平成24年6月21日に開催された厚生労働省行政事業レビュー公開プロセスにおいて「廃止」と判定された「血液製剤対策事業」(事業番号198)について、公開プロセスにおける議論並びに血液法における国の責務を踏まえ、「血液製剤対策推進事業」(事業番号199)とともに事業の見直しを実施。</p> <p>[コメントの結果]事業の廃止</p> <p>[とりまとめコメント]</p> <p>6名全員が見直しが不十分とのご判断。うち3名が「廃止」、2名が「抜本的改善が必要」、1名が「一部改善が必要」とのご判断。集計結果を踏まえ、とりまとめとしては「廃止」とする。</p> <p>一方、今日の議論の中でも、事業の必要性や見直しの余地等に関するご意見も頂いた。</p> <p>血液法に国の責務が規定されていることも踏まえて、大臣始め他の政務とも相談して対応していきたい。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	226	平成23年	203	平成24年	170

(※)補助金の交付対象を支出案件単位で整理することは困難なため、資金の流れについては、日本赤十字社の支出を含めて記載している。

厚生労働省
344百万円

日本赤十字社に対する補助
補助率 1/2

A. 日本赤十字社(※)
958百万円

血液供給等事業
献血推進基盤整備事業

【随意契約】

B. 民間会社等(217件)
439百万円

献血者健康増進事業
(献血者の献血血液検査や健康相談等の実)

【一般競争入札・随意契約】

H. 民間会社(7件)
282百万円

献血受入確保施設設備整備事業
(献血ルーム等の設置及び改修工事)

【随意契約】

C. 民間会社(24件)
55百万円

血液の安全性のための情報システム事業
(血液製剤の安全性確保のための)

【随意契約】

I. 民間会社等(220件)
81百万円

複数回献血協力者確保事業
(複数回献血者の確保のための体制整)

D. 個人(250名)
3百万円

問診技術向上研修事業
(問診技術向上のための、問診マニュアルの)

【随意契約】

E. 民間会社等(1,343件)
62百万円

若年層献血者等確保推進事業
(若年層献血者の確保及び献血協力組織の育)

【随意契約】

F. ノバルティスファーマ(株)
8百万円

ウエストナイルウイルス検査体制整備事業
(ウエストナイルウイルス感染対応として)

【随意契約】

G. 民間会社等(15件)
28百万円

特殊製剤国内自給向上対策事業
(抗HBs人免疫グロブリン製剤の国内自給達成の)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本赤十字社			F.ノバルティスファーマ(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	事務用品、啓発資材の購入等	374	消耗品費	ウエストナイルウイルス検査用試薬	8.4
備品費	成分採血装置購入	145			
改修等設備費	献血ルーム改修工事	137			
借料及び損料	会場借料、検査用機器リース料、タッチパネル及びパソコンリース料	89			
賃金	献血者健康増進事業に携わる職員の賃金	63			
雑役務費	ワクチン接種等データの入力業務	44			
印刷製本費	ポスター・パンフレット等の印刷	42			
旅費	職員・研修参加者等への旅費	29			
諸謝金	健康相談に係る保健師・栄養士への謝金等	21			
通信運搬費	複数回献血クラブに係る郵便代及び送料	14			
会議費	研修会における飲料代等	0.4			
計		958.4	計		8.4
B.(株)ムトウ			G.富士レビオ(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	113	消耗品費	抗体測定用試薬	16
計		113	計		16
C.NECキャピタルソリューション(株)			H.アイサワ工業(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料及び損料	問診用タッチパネル及び問診履歴照会用パソコンのリース料	33	改修等設備費	献血ルーム等の設置及び改修工事	69
計		33	計		69
D.個人			I.(株)NTTPCコミュニケーションズ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	問診技術好条件集會出席に係る旅費(248名)	2.9	通信運搬費	複数回献血クラブ運用メール管理サーバー利用料等	37.9
計		2.9	計		37.9
E.個人			J.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	若年層向け研修会・セミナー参加者に係る旅費(982名)	13			
計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	血液確保事業等補助金	344		
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ムトウ	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	113	随意契約	
2	個人	健康管理検査業務に携わる職員(111名)	63		
3	川澄化学工業(株)	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	54	随意契約	
4	シスメックス(株)	健康管理検査業務に要する機器のリース	32	随意契約	
5	(株)関薬	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	24	随意契約	
6	(株)スズケン	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	22	随意契約	
7	(株)シバタインテック	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	17	随意契約	
8	成和産業(株)	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	15	随意契約	
9	トッパン・フォームズ(株)	献血不採血者用パンフレット及び検査結果通知書の作成	14	随意契約(競り下げ)	
10	正晃(株)	400mL献血者及び成分献血者に対する血球計数検査に要する薬品、消耗品の購入	13	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NECキャピタルソリューション(株)	問診用タッチパネル及び問診履歴照会用パソコンのリース	33	随意契約	
2	富士通リース(株)	問診用タッチパネル及び問診履歴照会用パソコンのリース	16	随意契約	
3	日青堂(株)	問診回答システム用プリンターナー	2	随意契約	
4	三信電気(株)	問診回答システム用プリンターナー	1	随意契約	
5	ケイティケイ(株)	問診回答システム用プリンターナー	0.7	随意契約	
6	キャノンS&S	問診回答システム用プリンターナー	0.2	随意契約	
7	キャノンシステムアンドサポート	問診回答システム用プリンターナー	0.1	随意契約	
8	(株)ディエスジャパン	問診回答システム用プリンターナー	0.1	随意契約	
9	NECフィールディング(株)	問診回答システム用プリンターナー	0.1	随意契約	
10	アカマツ(株)	問診回答システム用プリンターナー	0.1	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	問診技術向上研修会出席に係る旅費(249名)	2.9		
2	個人	問診技術向上研修会に係る講師謝金(2名)	0.2		
3					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	若年層向け研修会・セミナー参加者の旅費(982名)	13		
2	(株)ジェイアール東日本企画	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	7	随意契約	
3	メディ総合管理(株)	若年層向け研修会・セミナー参加者の旅費	2.3	随意契約	
4	(株)日赤サービス	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	2.1	随意契約	
5	(株)CDG	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	1.8	随意契約	
6	(株)サンリオ	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	1.6	随意契約	
7	(株)タナベ経営SP事業部	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	1.2	随意契約	
8	(株)ギラヴァンツ北九州	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	1.2	随意契約	
9	東亜販売(株)	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	0.9	随意契約	
10	(株)旭成社	献血啓発資材の製作・購入、広告掲載	0.8	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ノバルティスファーマ(株)	ウエストナイルウイルス検査用試薬	8.4	随意契約	
2					
3					
4					
5					

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士レビオ(株)	抗体測定用試薬	16	随意契約	
2	家田科学(株)	抗体測定用試薬	4.7	随意契約	
3	(独)長崎医療センター	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	2.5	随意契約	
4	(株)メディセオ	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	1.3	随意契約	
5	(株)アトル	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	0.7	随意契約	
6	個人	特殊製剤国内自給向上対策に係る職員旅費(3名)	0.6		
7	(株)エバルス	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	0.4	随意契約	
8	テンプスタッフ(株)	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	0.4	随意契約	
9	(独)金沢医療センター	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	0.2	随意契約	
10	中澤氏家薬業	ワクチン接種及び接種者等情報のデータ化	0.2	随意契約	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アイサワ工業(株)	献血ルーム等の設置及び改修工事	69	随意契約	
2	ヘモネティックスジャパン(株)	成分採血装置	66	随意契約	
3	テルモ(株)	成分採血装置	65	随意契約	
4	国際建設(株)	献血ルーム等の設置及び改修工事	43	6	86.5
5	西松建設(株)	献血ルーム等の設置及び改修工事	16	随意契約	
6	カリディアンBCT(株)	成分採血装置	14	随意契約	
7	(株)丹青社	献血ルーム等の設置及び改修工事	10	随意契約(企画競争)	
8					
9					
10					

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NTTPCコミュニケーションズ	複数回献血クラブ運用メール管理サーバー利用料等	37.9	随意契約	
2	日本郵便(株)	郵便代及び送料	12.9	随意契約	
3	(株)日精ピーアール	複数回献血クラブ案内のチラシ・ポスター・冊子等の作成	1.8	随意契約	
4	(株)トライ	複数回献血クラブ案内のチラシ・ポスター・冊子等の作成	1	随意契約	
5	(株)エフエム山形	会場借料	1	随意契約	
6	(同)インサイドエフェクト	健康相談・栄養相談に係る保健師等への諸謝金	0.7	随意契約	
7	(株)フリーヴィレッジ	健康相談・栄養相談に係る保健師等への諸謝金	0.5	随意契約	
8	新宿区鍼灸按摩マッサージ指圧師会	健康相談・栄養相談に係る保健師等への諸謝金	0.5	随意契約	
9	東亜販売(株)	複数回献血クラブ案内のチラシ・ポスター・冊子等の作成	0.5	随意契約	
10	東洋紙業高速印刷(株)	複数回献血クラブ案内のチラシ・ポスター・冊子等の作成	0.5	随意契約	

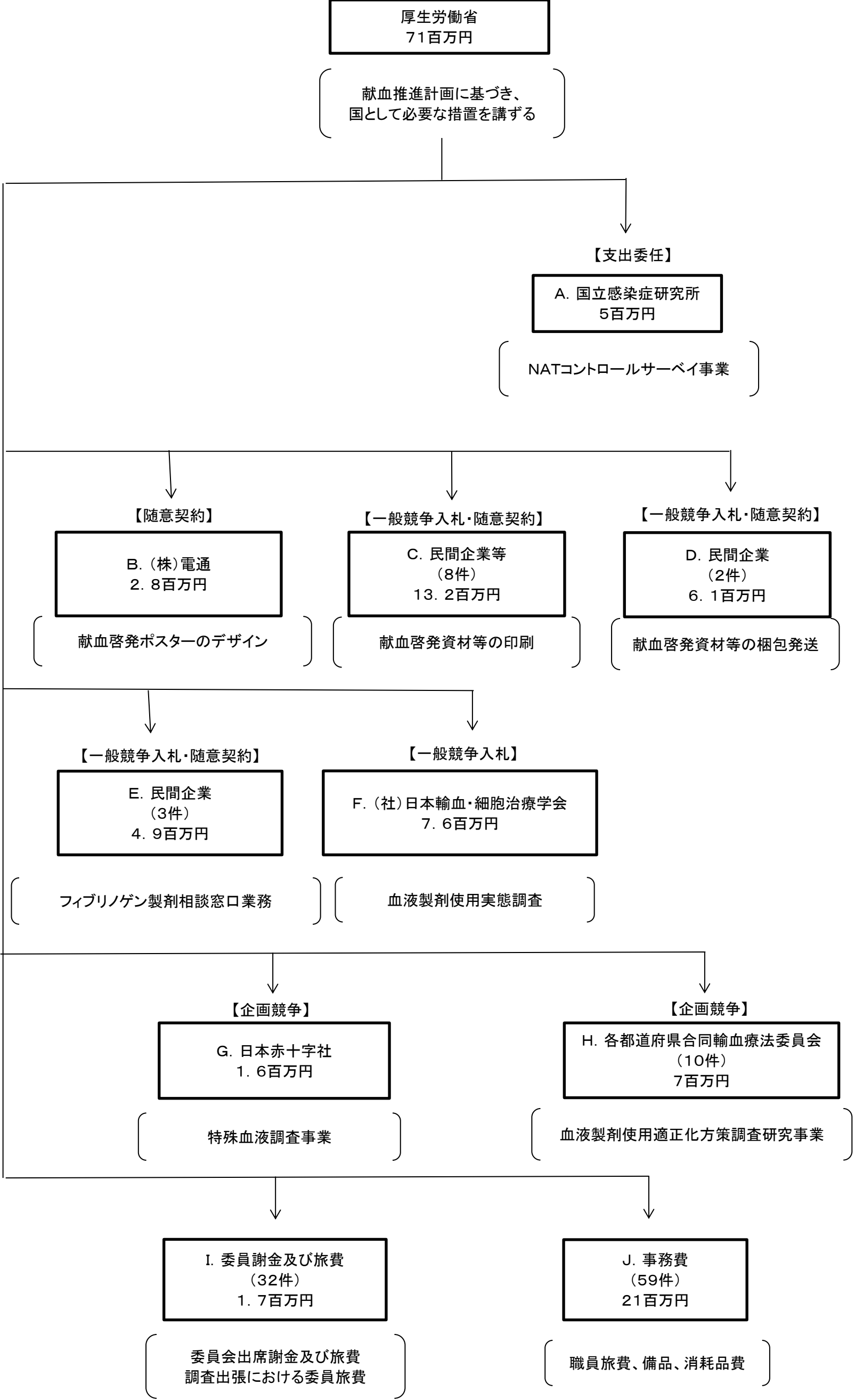
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	血液製剤対策推進事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和36年度～平成24年度		担当課室	血液対策課		課長 浅沼 一成	
会計区分	一般会計		政策・施策名	施策目標：I-7-1 健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成20年6月6日厚生労働省告示第326号) ・献血推進計画(平成23年3月23日厚生労働省告示第64号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全な血液製剤の安定供給の確保等を目的として、献血の推進に関する計画を策定し、血液製剤の安定性の向上、安定供給の確保及び適正使用の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療に必要な血液製剤を全て献血で確保するための体制確保や血漿分画製剤の国内自給体制の確率及び品質の確保を図るほか、血液製剤の基礎的調査を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	79	99	76		
		補正予算					
		繰越し等					
	計	79	99	76			
	執行額	66	92	71			
執行率(%)	84%	93%	93%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	毎年度、献血により確保すべき血液の目標量の90%以上	成果実績	万リットル	206	203	204	
		達成度	%	113	109	98	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	毎年7月に実施される「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスター	活動実績 (当初見込み)	枚	38,145 (36,140)	39,390 (39,390)	40,873 (40,873)	
		算出根拠	$((A)944,790 + (B)790,474 + (C)321,898) \div (D)40,873 = 50$ (A) = ポスターデザイン作成 (B) = 印刷製本費 (C) = 梱包・発送費 (D) = 配布部数				
単位当たりコスト	平成24年度「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスターのデザイン作成から発送までのコスト (50円/枚)						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金						
	職員旅費						
	委員等旅費						
	医薬品審査等業務庁費						
	医薬品等試験調査委託費						
	計						

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	医療に必要な血液製剤を確保するための体制確保等、血液法における国の責務に基づき、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	血液法における国の責務に基づき、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	安全な血液製剤の供給は、国民の保健衛生の向上に重要であり、優先度の高い事業である。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	会計法令に基づき、適正に支出先を選定し、競争性の確保に努めている。なお、一部、随意契約(企画競争)による調達を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	物品・役務等の調達において、単位当たりのコスト削減に努めており、その水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の適正な遂行に必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	—	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	事業実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	本事業で作成されたポスターや副読本等の成果物は、献血の啓発に広く活用されている。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	—		
	—	—	—	—		
点 検 結 果	本事業は、血液法における国の責務に基づき、国が実施すべき事業であり、国民のニーズもある。その成果目標の達成度は高く、事業の必要性やコストも適切であるが、今後、さらに効率的な事業の実施に向けた見直しを行ってまいりたい。					
	外部有識者の所見					
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
<p>・平成24年6月21日に開催された厚生労働省行政事業レビュー公開プロセスにおいて「廃止」と判定された「血液製剤対策事業」(事業番号198)について、公開プロセスにおける議論並びに血液法における国の責務を踏まえ、「血液製剤対策推進事業」(事業番号199)とともに事業の見直しを実施。 [コメントの結果]事業の廃止 [とりまとめコメント] 6名全員が見直しが不十分とのご判断。うち3名が「廃止」、2名が「抜本的改善が必要」、1名が「一部改善が必要」とのご判断。 集計結果を踏まえ、とりまとめとしては「廃止」とする。 一方、今日の議論の中でも、事業の必要性や見直しの余地等に関するご意見も頂いた。 血液法に国の責務が規定されていることも踏まえて、大臣始め他の政務とも相談して対応していきたい。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	227	平成23年	204	平成24年	171

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国立感染症研究所			F.(株)日本輸血・細胞治療学会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品・備品	事業に必要な消耗品・備品の購入	4	役務	血液製剤使用実態調査	7.6
役務・通信運搬	HCV-DNA定量検査等	1			
計		5	計		8
B.(株)電通			G.日本赤十字社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	献血啓発用ポスターデザイン作成	2.8	消耗品	検査材料の購入	1.6
計		2.8	計		1.6
C.(株)アイネット			H.新潟県合同輸血療法委員会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	献血についての副読本(高校生用・教員用)印刷	9.1	印刷製本費	研究報告書の作成	0.8
計		9.1	計		0.8
D.(株)オリエンタル物流			I.委員A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	献血についての副読本(高校生用・教員用)梱包・発送業務	4.1	旅費	調査出張における旅費	0.6
計		4.1	計		0.6
E.(株)ダブリュファイブスタッフサービス			J.自分未来アソシエ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	フィブリノゲン製剤に関する相談窓口	3.7	役務	通訳	2
計		3.7	計		2

支出先上位10者リスト
A.NATコントロールサーベイ事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立感染症研究所	NATコントロールサーベイ事業	5		

B.献血啓発ポスターのデザイン

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電通	「愛の血液助け合い運動」ポスターデザイン作成	0.9	随意契約	
		血液及び献血に関する正しい知識の普及啓発資材(ポスター)デザイン作成	0.9	随意契約	
		「はたちの献血」キャンペーンポスター原稿作成	0.9	随意契約	

C.献血啓発資材等の印刷

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイネット	献血についての副読本(高校生用・教員用)印刷	9.1	2	82.7
2	(株)太陽美術	平成24年度血液事業報告印刷	1	随意契約	
		平成24年度中学生用血液及び献血に関する正しい知識の普及啓発資材(ポスター)印刷	0.5	随意契約	
3	城南印刷(株)	平成24年度「愛の血液助け合い運動」ポスター印刷	0.8	随意契約	
4	(株)協同印刷	第48回献血運動推進全国大会プログラム等印刷	0.7	随意契約	
5	(株)miura-ori lab	「はたちの献血」キャンペーンポスター印刷	0.4	6	62.9
6	大和綜合印刷(株)	第48回献血運動推進全国大会表彰状印刷等	0.3	随意契約	
7	(株)購買戦略研究所	「はたちの献血」キャンペーンポスター印刷の競り下げ実施	0.02		
		献血についての副読本(高校生用・教員用)印刷の競り下げ実施	0.02		
8	(独)国立印刷局	表彰状用紙	0.03	随意契約	

D.献血啓発資材の梱包発送

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オリエンタル物流	献血についての副読本(高校生用・教員用)梱包・発送業務	4.1	2	97.9
2	協新流通デベロッパー(株)	平成24年度中学生用血液及び献血に関する正しい知識の普及啓発資材(ポスター)印刷	1	随意契約	
		「はたちの献血」キャンペーンポスター印刷	0.4	随意契約	
		平成24年度「愛の血液助け合い運動」ポスター印刷	0.3	随意契約	
		平成24年度血液事業報告印刷	0.3	随意契約	

E.フィブリノゲン製剤相談窓口業務

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブリュファイブ・スタッフサービス	フィブリノゲン製剤等に関する相談窓口業務	3.7	2	69.8
2	八重洲電気(株)	電話機等借り上げ(フィブリノゲン製剤等に関する相談窓口)	0.6	随意契約	
3	富士ゼロックス(株)	複写機借り上げ(フィブリノゲン製剤等に関する相談窓口)	0.6	随意契約	

F.血液製剤使用実態調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)日本輸血・細胞治療学会	血液製剤使用実態調査	7.6	1	88.3

G.特殊血液調査事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	平成24年度特殊血液調査事業	1.6	随意契約(企画競争)	

H.血液製剤使用適正化方策調査研究事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新潟県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.8	随意契約(企画競争)	
2	石川県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.8	随意契約(企画競争)	
3	福島県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
4	秋田県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
5	宮城県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
6	佐賀県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
7	広島県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
8	熊本県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
9	山形県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	
10	青森県合同輸血療法委員会	平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業	0.7	随意契約(企画競争)	

I.委員会出席謝金及び旅費、調査出張における委員旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	調査のための委員出張旅費	0.6		
2	委員B	調査のための委員出張旅費	0.3		
3	委員C	委員会出席旅費	0.07		
4	委員D	委員会出席旅費	0.07		
5	委員E	委員会出席旅費	0.05		
6	委員F	委員会出席旅費	0.05		
7	委員G	委員会出席旅費	0.04		
8	委員H	委員会出席旅費	0.04		
9	委員I	委員会出席旅費	0.04		
10	委員J	委員会出席旅費	0.04		

J.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	自分未来アソシエ(株)	通訳(日本語←→英語、仏語)	1	随意契約	
		通訳(日本語←→英語)	1	随意契約	
2	(有限)タケマエ	トナーカートリッジ等の購入	1.2		
		紙筒	0.2	随意契約	
		デジタルカメラ2台他1点	0.06	随意契約	
		扇風機修理	0.02	随意契約	
		鋼製大型回転椅子修理	0.02	随意契約	
		LEDデスクライト購入	0.01	随意契約	
		郵便切手	0.005	随意契約	
3	信楽陶器工業協同組合	信楽焼花瓶等(第48回献血推進運動全国大会記念品)	1.4	随意契約	
4	(株)JTB	職員出張におけるチケット・宿手配	1.3	随意契約	
5	職員A	出張旅費	0.9		
6	日本郵便(株)	郵便料金	0.8		
7	職員B	出張旅費	0.8		
8	東日本電信電話(株)	医薬食品局に係る電話料金	0.6		
9	職員C	出張旅費	0.4		
10	富士ゼロックス(株)	複写機の保守及び消耗品の供給	0.4		